

# 漁業のお仕事 ..... 雄武町

## 小さいころから身近にあった仕事 今は魚をとることが楽しくてやりがいに



仕事について

## 魚はとればとれただけうれしい

中学まで雄武(おうむ)で、高校は旭川の高校に進学しました。卒業後は、美容師になろうと旭川の美容専門学校に進学し、そのまま旭川で美容師に。父親が漁師で、自分が25才の時に「家を継がないか」と言われ、地元に戻ってきました。小さいころから父親の姿を見て、手伝いもしていたので、**頭のどこか**



道具の手入れも大切な仕事!

**に漁師という仕事はあった**と思います。父親から漁師をやらないかと言われた時は、迷うこともなく引き受けました。

漁は、他の漁師たちと一緒にサケをとっています。さけ漁は9~11月いっぱいなので、漁に出ないときは網を直したり、道具の整備をしています。夜中に沖に出て、朝7~8時には戻ってくるので、そのあとは一人で船に乗って、昆布やタコなどをとりに2時間ほど海に出ることも。

**漁師の魅力(みりょく)はやはり“魚をとること”**。漁に出て、魚がたくさんとれたときはうれしいですね。仕事終わりに食べるチャンチャン焼きは最高ですよ!

## オホーツクへの想い

### 地元は魅力的で働きやすい環境

まわりから見たら何もない町と思われるかもしれませんが、海産物もあるし、農家の人もたくさんいて農作物もとれるし、**何もないということは全くなく、魅力的な町**。小さな町なので、近所の人たちが「あそこん家の子かい」と、みんなよく声をかけてくれます。みんな顔見知りで、どこのだれだか分かっているので交流もあり、すごく働きやすいですね。



漁協組合の仲間たちと



オホーツク海でのさけ漁のようす

## 地域との関わり

### 地域交流をしながら 地元貢献(こうけん)

**漁業組合の青年部長をやっています**。

青年部みんなで地元のお祭りに参加したり、雄武はオホーツクサイクリングのスタート地点だったので、会場でカニ汁を提供したりもしていました。毎年秋には、感謝の意味も込めて、組合員みんなで漁港のゴミ拾いなど清掃活動もしています。海の仕事をしているので、**浜に貢献したいという想いはありますね**。

## メッセージ



さとう ゆうすけ  
**佐藤 友亮**さん

〈プロフィール〉

● 出身/雄武町 ● 勤続年数/7年 ● 所属・役職/青年部長 ● モットー/「後輩や同年代の人には負けないようがんばること」

〈勤務会社〉

雄武漁業協同組合 〒098-1702 雄武町雄武1865 TEL:0158-84-2531

### 今のうちから さまざまな職業があることを知って

自分も一時期は地元を離れ、旭川に出てはみたものの、将来何をするか迷っていたことがある。迷うことは決して悪いことではないし、今すぐ「これになりたい」と決める必要もないけれど、これからもいろいろなものを見て、さまざまな職業があることを知っておくことは大事。「この仕事カッコイイな〜」でもいいので、あこがれや興味を持ったことを頭のどこかにおいておくだけでも、将来、進路を決めなくてはいけないときに、ふと思い出せるはず。